

氏名	大 橋 勝 英
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1456 号
学位授与の日付	昭和59年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	Macrophage Migration Inhibition Factor Against Cell-Surface Antigens Coded by the Major Histocompatibility Complex And Other Genes in Mice マウスの組織適合性遺伝子複合体に支配されたリンパ球表面抗原に対するマクロファージ遊走阻止因子の検討
論文審査委員	教授 寺本 滋 教授 粟井通泰 教授 木村郁郎

学位論文内容の要旨

遅延型過敏反応において、マクロファージ遊走阻止因子 (MIF) は強く相関するとされている。マウスの移植免疫において、MIF が組織適合性抗原群のどの領域に関係しているか、毛細管間接法にてその活性を測定し比較検討した。

感作抗原差がH-2 +background の時、強い MIF 活性を示したが、background ではその活性は弱かった。同様にH-2K end+background,及びH-2D end+background も比較的強い反応を示した。又、感作抗原差がH-2 +background,かつ惹起刺激差がH-2D+background では中等度の反応を示した。background に対し MIF 活性が弱いと仮定すれば、H-2 は最も強い抗原群であり、そのK end やD end も比較的強い抗原性を有することになり、H-2Dも MIF 活性に関与していると考えられる。この点、in vivo の遅延型過敏反応で background に対し強く反応し、H-2D end やH-2D に対しほとんど反応しないという報告と逆の結果となった。

論文審査の結果の要旨

本研究はマウスの移植免疫において、組織適合性遺伝子複合体群と、マクロファージ遊走阻止因子との反応機序について検討したものであって従来に比し新知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。